



【戦評シート】

平成 17年 5月 5日(木)	協会名： 能代市 バスケットボール協会
場 所：能代市総合体育館	記入者：田中 晃喜
チームA 新潟商業 67	チームB BG74

スターター	チームA： 4 5 10 11 12	チームB： 5 9 13 14 15
ディフェンス (試合開始時)	チームA： マンツーマン ゾーン() その他()	チームB： マンツーマン ゾーン() その他()

新潟商業はオールコートでマンツーマンプレス、BGは2 - 1 - 2のゾーンで試合開始。出だし新潟は 田中の3Pで得点、外から中心に攻撃をするが、ドイツBGの高さに思うようにシュートが決まらず有利な展開に持ち込めない。対するドイツBGはリバウンドを支配し、アーネ・ダウネ・ホスがインサイドで得点を重ねリードを奪う。新潟商業は必死にオールコートで食らいつき、速い展開を目指す但ファウルが相次ぎ、要所でパスミス、シュートミスもあり、4点のリードを許し第1Q終了。

第2Qは2分に 西村・田中の3Pなどで28 - 28と同点とする。しかしBGは2m10cmのホスにボールを集める。このQ ホスが12得点し、43 - 39と4点リードし前半終了。

第3Qは新潟商業 田中・小林の3Pで2分には47 - 45と逆転に成功したのもつかの間、BGは高さのあるピックアンドロールを次々と決め、徐々にリードを広げ、5分には59 - 49とする。新潟タイムアウトの後、双方ともスピーディーな展開となり、66 - 54の12点差で第3Q終了。

第4Qは、BGのあたりが強くなり、新潟はなかなか得点できない。ようやく 田中の3Pが4分に決まるが、攻撃がアウトサイド中心になり、得点が進まない。ドイツBGはホスに頼らずバランスよく各選手がインサイドで得点し、結局82 - 67の15点差で終了。新潟は 田中が7本の3Pを含め29得点。BGはホスが34得点。高さを生かしたインサイドプレーと、リバウンドを支配したドイツBGに軍配が上がった。

注意：文面には試合内容のみご記入下さい。